

道央ひとワイド

幅広い世代にさまざまな

なスポーツができる場を提供している北広島市の総合型地域スポーツクラブ「よりづか☆ちよいスポ倶楽部」が創設から3年を迎えた。代表を務める鈴木ゆかりさん(47)は「発足当初は手探りでしたが、だんだん活動の輪が広がってきました」と成果を語る。

同クラブは2008年3月に発足した。公共施設や小中学校の体育館を使い、スポーツ教室などを開講。正会員と賛助会員合わせて約500人がクラブで汗を流してい

る。子供から大人までが楽しめる「ニュースポーツ」を積極的に導入。タックルの代わりに腰につけた布(タグ)を取り合う「タグラクビー」や、テニスに似た「スポレック」なども関係なく、気軽に参加できることがニュースポーツの魅力です。

広がれ スポーツの輪



現在はスポーツ振興くじの助成を受けているが、今後は自主運営の確立が課題だ。「新年度はNPO法人の法人格を取得し、活動を市内全域に広めたい」。市民が居場所と生きがいを見つけれれるクラブをつくらうと、奔走している。

北広島

初の写真展成功
生涯現役目指す

北海道写真協会(道写協)小樽支部のベテラン会員らでつくる「フォートピア」の初の写真展が2月23日か

ら6日まで、市立小樽図書館で開かれた。代表の太田照二さん(80)は「自然や風景を撮る60〜80歳代の仲間と結成した。撮影旅行などで知識を交換し、生涯現役でいたい」と話す。

グループ名はフォート(写真)とユートピア(理想郷)から付けた造語。作品展は道内の雄大な自然をとらえた作品が中心で、好評を博

した。「次回は晩秋に開きたい」

小樽

自然保護と観光両立の方策探る



環境省支笏湖自然保護官の笠原綾さん(26)は、「地

とりながら、観光地として多くの人がゆっくり滞在できる方策も考えたい」と力を込める。

支笏湖畔

軟らかい肉好評
「望来豚」どうぞ



石狩市厚田区の望来地区で「望来豚」を生産・販売しているノース・ベスト・ファームが、食料自給率の向上に貢献した企業をたたえる「フード・アクション・ニッポン・アワード2010」(実行委主催)の商品部門で入賞、同社の雨宮茂典営業部長(50)は「餌へのこだわりが評価されました」と笑顔を見せる。

近隣から大豆や小麦を集め、豚の成長期に必要な栄養を与えてきた。札幌の百貨店などで販売され、「肉が軟らかく、シューシーと評判です」。

石狩